

西陵中学校だより

学校 HP アドレス <http://www.yokkaichi.ed.jp/seiryu>

平成 26 年 4 月 23 日 (水)

26 年度 第 3 号

4 月 23 日 (水) は、「こども読書の日」

親子読書 (ファミリー読書) 始めてみませんか! ?

涙するような感動、わくわく、ハラハラ、ドキドキする体験、深く考えさせられる体験など、子どもたちの成長にとって、心が揺さぶられる“感動体験”は、なくてはならないものだといえます。この感動を比較的簡単にもたらしてくれるのが、“本との出会い・読書体験”です。

しかし、子どもたちの生活は、ゲームやテレビ、「ケイタイ」、「スマホ」等を使った時間が大変多くなっているのが実情です。本を手にする生徒は、まだまだ多くはありません

読書によって、考える力が養われ、ものの見方・とらえ方が広がったり、心が豊かになったりします。もちろん、学力向上の基盤になります。

本年度も、学校図書館司書と図書委員会が中心となって魅力ある図書館づくりを推進していきたいと考えています。昨年度以上に、子どもたちが手に取りたくなる、新しい本をドンドン入れていく予定です。季節の節目節目に“おすすめ図書”を積極的に紹介していきたいと考えています。

言葉と出会う、登場人物と出会う、そして、多様な価値観と出会う読書体験は、豊かな人生をもたらしてくれます。子どもたちが本と出会えるようにするために、学校と家庭が協力し、大人の側からの適切な働きかけが必要であると考えます。

ご家庭におかれましても、すでに自然な形で行って見えるご家庭もあるかと思いますが、家族が同じ本を読み、感想を伝えあったりする親子読書 (ファミリー読書) を始めていただければ、いかがでしょうか。



“本との出会い、豊かな人生！”

学年	No	本の名前	作者	あらすじ等・メモ
1 年 生	1	僕とおじいちゃんと魔法の塔	香月 日輪	小6の男の子が、幽霊となっているお爺ちゃんの家に住み込んで・・・。
	2	冒険者たち ガンバと15ひきの仲間たち	斎藤 惇夫	自分自身が戦っているようなハラハラドキドキ感が味わえます。
	3	都会のトム&ソーヤ	はやみねかおる	2人の中学2年生が、学校や街中でいろいろなイタズラをし、冒険をしていく物語。
	4	ぼくらの七日間戦争	宗田 理	1学期就業式の日には中学1年2組の男子生徒が突然姿を消した。
	5	バッテリー	あさのあつこ	野球に関しては天才的な原田功が、ピッチャーとして成長していく物語。
2 年 生	1	兎の眼	灰谷 健次郎	新任の小谷先生が、小1の鉄三少年に向き合って成長していく物語。号泣です。
	2	鬼の橋	伊藤 遊	平安時代の実在の人物が、少女との交流で大人に成長していく物語です。
	3	リズム	森 絵都	主人公は中学生のさゆき。中学生の気持ちを見事に表現している。自分も大丈夫と思えます。
	4	しゃばけ	畠中 恵	病弱な若旦那とかわいい妖怪たちが、事件を解決していきます。いやされます。
	5	月神の統べる森で	たつみや 章	縄文時代、大自然の神々に感謝をささげ生活していたところに海の民があらわれて・・・。
3 年 生	1	ボックス	百田 尚樹	いじめられっ子がボクシング部に入部。人は変わる、成長できる。勇気がみなぎります。
	2	「また、必ず会おう」と誰もが言った	喜多川 泰	高校生が主人公。“生き方のヒント”がてんこ盛りです。生きるって素晴らしい！を実感。
	3	モモ	M. エンデ	灰色の時間どろぼうに立ち向かう少女モモのお話です。「幸せとは何か」考えさせられます。
	4	キノの旅 1～	時雨沢 恵一	旅人のキノが、相棒のエルメスと一緒に旅をします。短編で一話完結です。考えさせられます。
	5	図書館戦争	有川 浩	とにかく面白いです。最初の30ページを我慢すれば。大爆笑の連続。元気になります。

※ 教科書にのる名作や古典と呼ばれている本というよりは、“面白い！”、“引き込まれた！”といった本を学年別に5冊あげてみました。実際には、学年にこだわらず読んでほしいと思います。また、リクエストにも可能な限り応えていきたいと思いますので、連絡してください。